

要求実現に全力!

日本共産党
札幌市議団

今期 市議の海外視察凍結

今年度分**1,360万円**を奨学金に

札幌市議には、4年間で80万円を上限に「海外視察」に行ける制度があります。共産党市議団は、20年前から自主的に「海外視察」をやめ、廃止を主張してきました。今期（4年間）、議員の海外視察を凍結させることになり、今年度分の1,360万円を奨学金として活用することになりました。

学童 保育

6年生まで拡大へ

共働き家庭にとって、働き続けながら安心して子育てができるようにするためには、学童保育の拡充は切実です。「現在4年生までの民間共同学童保育を、児童クラブと合わせて6年生まで対象を拡大すべき」との求めに対し、市は「学年の進行に応じ、6年生まで拡大を順次検討していく」との方向を示しました。

住宅リフォーム助成額増額へ

札幌市が昨年住宅リフォーム助成申請の受け付けを開始したところ、11日間で1,500万円の予算枠に達しました。8月、1千万円の追加募集に申し込みが殺到し初日で受け付けを中止。「補正予算を組んで事業を拡大すべき」との求めに対し、「市の事業費3千万円に対して約20倍（6億円）の工事、波及効果が大きい」予

算拡大を検討する」と答弁しました。党市議団は、使いやすい制度に改めるためにがんばります。

「札幌市行財政改革推進プラン」

国が負担を押し付けているとき、

さらなる負担増はやめよ!

札幌市は、市の財源不足が発生する”として、市民負担増を求める「行財政改革推進プラン」を第一回定例市議会（2月14日～3月28日）で決定しようとしています。

野田内閣が、社会保障の大改悪と一体に消費税増税を計画している時、さらなる市民への負担増を行ってはなりません。

「行財政改革推進プラン」で計画されている一部を紹介します。

保育料の値上げ（平均改定率10%程度）

延長保育料有料化（一時間100円）

児童クラブ利用料有料化（一ヶ月、無料↓3千円に）

市営住宅使用料見直し（減免世帯平均家賃一ヶ月6,450円↓10,690円）

さらに、今後、**手稲プール、保養センター、駒岡、パークゴルフ場**などの利用料、**敬老パス**などを見直そうとしています。

市が実施した市民意見の募集によると、ほとんどが「反対」を表明しています。市民意見を尊重すべきです。

市民の切実な要求

170項目を市長に予算要求

日本共産党市議団は、12月21日上田市長に2012年度予算への要望書を手渡しました。「行財政改革推進プランでの市民負担増をやめよ」な

ど市民の切実な要求を170項目にまとめ、実現を求めました。内容は、市議団のホームページでご覧になれます。



市長に予算要望を手渡す共産党市議団、前列左から宮川・小形・井上・坂本・伊藤市議。後列田中・紙谷さん。